

平成24年度 健全化判断比率及び資金不足比率の概要

問 財務課 ☎84-0322

町財政運営の健全性を測る指標である健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)、資金不足比率は、【表1】と【表2】からわかるように、早期健全化基準及び経営健全化基準を十分にクリアしています。平成25年度以降も健全性を確保しながら財政運営をしていきます。



平成24年度決算に基づく開成町における健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率

平成24年度決算に基づく健全化判断比率【表1】

	開成町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実 質 赤 字 比 率※1	—	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率※2	—	20.0%	40.0%
実 質 公 債 費 比 率※3	11.0% (平成23年度 10.9%)	25.0%	35.0%
将 来 負 担 比 率※4	98.0% (平成23年度 104.7%)	350.0%	

備考 実質赤字額または連結実質赤字額がない場合は「—」で表示

平成24年度決算に基づく公営企業の資金不足比率【表2】

特別会計の名称	開成町の比率	経営健全化基準
開成町下水道事業特別会計	—	20.0%
開成町水道事業会計	—	

備考 資金不足比率が算定されない場合は「—」で表示

町の財政がどのくらい健全なのかというお知らせだよ！
これは、法律に基づいて、議会と町民のみなさんに報告する必要があるものなんだ。



比率の説明

- ※1 実質赤字比率
一般会計等（開成町の場合は、給食事業特別会計含む）の実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
- ※2 連結実質赤字比率
全会計を合算し全体としての実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
- ※3 実質公債費比率
一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率
- ※4 将来負担比率
一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

基準の説明

- 健全化判断比率の各指標が早期健全化基準、財政再生基準以上になった場合や資金不足比率が経営健全化基準以上になった場合は、町に対して次のような内容が義務付けられ、行政運営が制限されます。
- 早期健全化基準以上になると
財政健全化計画の策定(議会の議決)、外部監査の請求が義務付けられます。
 - 財政再生基準以上になると
財政再生計画の策定・公表が義務付けられ、計画に対する国の同意手続きが必要となり、地方債の発行も制限されます。
 - 経営健全化基準以上となると
経営健全化計画を公営企業ごとに策定しなければなりません。

子育てウレシポイント 115

問 開成町子育て支援センター ☎82-12222

Q 最近、おもちゃの取り合いでけんかが始まってしまいました。(3歳児)

A まだ3歳では、自分の「やりたい」「遊びたい」という欲求が強く、お友達におもちゃを譲ったり貸したり出来ないことが多いです。

きっと、5〜6歳になれば、お友達や自分より小さな子に、おもちゃを譲ってあげられるようになるでしょう。

そんなときは、けんかの仲裁に入りながら「おもちゃは順番に使おうね」「同じおもちゃでいっしょに遊ぼうね」などの、お互いを思い合えるような言葉をかけることで、徐々に子ども達だけで解決できるようになっていきます。

けんかは、折り合いをつけて、相手の気持ちを大切に思う学びの場です。今は、その都度、お友達との遊びのルールを教えて、経験させてあげましょう。



生 生 レポート 今 148
子どもたちは「植物っておもしろい！」

見 て！桜の木にへちまがなってる！」「えー！どこ？」

二学期初日のことでした。ある男の子の叫び声に、クラスみんながその場にかかりました。

私 は今年度、年長のばら組の担任をしています。今年、年長組ではジャイアントカボチャやせんなりひょうたん、へちまやナタマメなどの栽培に挑戦し、ばら組ではへちまを中心に育てました。

夏 休み明け、へちまの生長を楽しみに登園した子どもたち。そのへちまを初めて見つけたのは、種や苗を植えた畑ではなく、なぜか保育室の横にたたずむ桜の木で



へちま、長いね～

「本」 当に桜の木にへちまができたんだよ」「鳥が種を運んできたんだ」「きつと、へちまのAさんが、夏休みの間にこっそり植えたんだよ」。へちまのAさんとは、幼稚園のご近所の方で、へちまの苗の植え付けからお世話になっていて、いつも幼稚園のことを気にかけ、へちまの生長を見守ってくださっている方です。

子 どもたちの様々な発想は、ほほえましいものです。大人は、去年落ちた種から発芽したのかなと予想がつきますが、子どもたちは、

自分が今まで経験してきたことや身近なことから、一生懸命、目の前に現れた不思議なことを解明しようとしています。その姿は、とても生き生きとしていて、頼もしく見えました。

早 速「ばらぐみ新聞」として大きな紙に桜の木にぶら下がるへちまを描き掲示板に貼る子、画用紙を丸めて伸び縮みする望遠鏡のようなものを作ってへちまを観察する子。Aさんが幼稚園に遊びに来てくださったときには、「Aさん、ほくたちがいないときにへちまの種植えた？」と質問する子もいました。Aさんは、子どもたちのどんな質問にも温かく答えてくださいました。子どもたちは、自分たちで育ててきたへちまをもっと大事にしようとする気持ちが増し、植物を栽培するおもしろさを感じたようです。

日 々、地域のみなさんの温かい眼差しに見守られていて感じています。私も子どもたちが心を動かしている場面を大事にし、思いを共有していきたいと思えます。